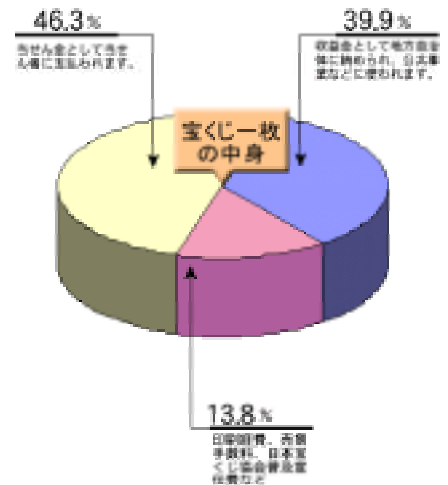


宝くじで3億円当たったら・・・、誰もが一度は考えたことがあるだろう。別に宝くじを推奨するわけではないが、誰もが興味を抱くものなので簡単に説明しておこう。ちなみに右の図は、宝くじの収益金がどのように使われているかを表したものである。収益金の約40%が公共事業に寄付され、約14%が運営費として使われる。当籤者に支払われるのは46%に過ぎないので、私は『当籤確率の割には賞金が少ないなあ』とってしまう。



主な宝くじの種類

ジャンボ宝くじ

- 「ドリームジャンボ」 春に実施
- 「サマージャンボ」 夏に実施
- 「年末ジャンボ」 冬に実施(年の終わりに当選発表)

最も馴染みのある宝くじ。最高賞金は前後賞合わせて3億円と、名前の通り規模も大きい。値段は1口300円

通常宝くじ

オータムジャンボ宝くじやグリーンジャンボ宝くじなど、年に14回開催されている。最高賞金はジャンボ宝くじには及ばないが、前後賞合わせて2億円と決して少なくはない。

数字選択式宝くじ

自分の好きな数字を設定し、当選番号と一致すればお金がもらえるという宝くじ。毎週開催されている。

- 「ナンバーズ」 3桁(ナンバーズ3)または4桁(ナンバーズ4)の数字を選ぶ2通りがある。当籤金額は固定されていないが、およそ100万円程度と少なめ。値段は1口200円。
- 「ミニロト」 1から31までの31個の数字の中から選んだ異なる5個の数字(申込数字)と抽選数字が一致している個数によって、1等から4等までの当籤が決まる。1等賞金はおおよそ1000万円程度。値段は1口200円。
- 「ロト6」 1から43までの43個の数字の中から選んだ異なる6個の数字(申込数字)と抽選数字が一致している個数によって、1等から5等までの当籤が決まる。1等賞金はおおよそ1億円程度。値段は1口200円。

宝くじの購入

宝くじは、宝くじ専用の販売所で買える。デパートやスーパーの出入り口付近や人通りの多い街の中など、電話ボックスがちょっと大きくなったような屋台みたいなところで販売している。また、その宝くじを受託する銀行でも買える(足利銀行などだいたい銀行で買える)。購入時は、「連番」か「バラ」かを言って購入する。「連番」は連続した番号のくじを買うことで、「バラ」はバラバラの番号のくじを買うことである。もちろんどちらが良いかはわからない。3億円当たったなどという人は、連番で買って1等2億円とその前後賞を当てた人のことである。数字選択式の宝くじは、マークシートで数字を選ぶので専用の機器がおいてあるところで購入できるが、だいたい宝くじが販売できるようなおくじには置いてある。